

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	交流・環境	26年度事業・施策評価結果			責任者	企画調整室 環境担当課長
施策名	良好な港湾環境の形成	成果	コスト			
事務事業名	港湾環境啓発活動の推進	継続	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7819
目的	対象(誰・何を)	県民・市民及び港湾関係者			事業 期間	平成16年度～継続
	意図(どうい う状態にしたいか)	名古屋港の環境への取組みについて関心を持ってもらうようにします。				
概要	環境学習への協力や各種イベント等の機会を活かし、パンフレット配布等の環境啓発活動を行います。				根拠 法令等	
27年度の実施予定	パンフレット等を活用し、環境デーなどやなどのイベントの参加や、環境学習を行う予定です。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連 シート	

2 DO(実施)

27年度に実施した 内容・結果	環境学習への協力や各種イベントでパンフレット配布等の環境啓発活動を行いました。					
コスト	単位	25年度	26年度	27年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	519	390	186	365	展示会における出展内容を見直し、経費を削減したため、事業費が減少しています。
人件費	千円	2,190	2,643	2,676	2,503	
合計	千円	2,709	3,032	2,862	2,868	

3 CHECK(検証)

指標名		25年度	26年度	27年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
パンフレット等の受 取人数(人)	目標	-	1,100	1,100		1,100	名古屋港の環境への取組を紹介したパンフレット等を受け取った人数	天候
	実績	1,027	1,004	645				
(単年度管理型)	事業進捗状況(27年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る			
環境啓発活動実施 回数(回)	目標	-	3	3		3	各種イベント等において実施した環境啓発活動の回数	
	実績	5	3	5				
(単年度管理型)	事業進捗状況(27年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	イベント当日の天候が悪く(雨天)、会場への来訪者数が少なかったため、パンフレット等の受取人数は目標値を下回りました。環境啓発活動実施回数は、地元の小中学校からの環境学習依頼が多かったため、増加しました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 広く一般に環境負荷を低減しなければならないことを周知するとともに、名古屋港管理組合の環境への取組について理解を得るために必要です。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 企業における努力は、各種法令の整備により、環境負荷の低減はほぼ達成している状況であり、一般家庭における努力を行う必要性を意識付けするための「きっかけ」を作るとともに、名古屋港管理組合の環境への取組を広報する場となっています。						
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 愛知県や名古屋市が主催するイベントに参加するなど、必要最小限の費用負担で運営しています。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	28年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	拡大	維持	環境啓発活動は、より効果的な手法の検討を行いながら、継続的に取り組む必要があるため。
	資源(財・人)の投入は維持したまま、取組を強化することによって、成果をあげる必要がある。		
課題			28年度以降の取組
県民・市民及び港湾関係者に対して、名古屋港の環境への取組について関心を持ってもらうためには、現状の取組を継続的に行っていく必要があります。			港湾環境施策を取りまとめたパンフレットを新たに作成するとともに、環境イベントへの参加や環境学習の協力を引き続き行っていきます。